



新年のごあいさつ

高浜市長
吉岡 初浩

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年8月の市長選挙におきましては、市民各位よりご支援を賜り、引き続き、市政を任せていただくことに、改めて身の引き締まる思いです。

さて、昨年は市内医療機関のご協力を賜り、新型コロナウイルス接種を第一に取り組み、多くの市民の皆さまに接種していただくことができました。改めて、医療関係者をはじめとする、市民の皆さまの感染対策へのご協力に心から感謝申し上げます。昨年末にかけては、やや小康状態となりましたが、新型のオミクロン株が国内でも確認されるなど、決して予断を許さない状況にあることから、改めて感染対策にご協力をお願いするとともに、行政においても、3回目の接種に向けて全力で取り組んでまいります。

先を見通しにくい状況ではありますが、市内における経済活動を促進するため、市内店舗でお得な特典を受けることができる「たかはまクーポンブック」を3月に発行できるように準備しておりますので、ぜひご利用ください。

コロナに翻弄された一年でしたが、明る

い話題もあり、高浜市出身のスケートボード選手、岡本碧優選手の東京五輪での活躍が私たちに感動を与えてくれました。最後まで挑戦し続ける姿勢はもとより、世代や国を越えた選手たちがともに理解し、ともに称え合う姿は、皆さまの心にも深く刻み込まれたのではないのでしょうか。

コロナ禍で外国人住民の方々も大きな影響を受けました。SDGsにもあるように、これからは地域のすべての人たちが自分らしく住み続けられるまちづくりを目指し、昨年7月に開所した多文化共生コミュニティセンターを軸として、国籍、性別、年齢を問わず、すべての人たちが高浜を創り上げていく仲間として、地域に溶け込んでいただけるよう、引き続き、多文化共生に取り組んでまいります。

令和2年12月1日に高浜市は市制施行50周年を迎えました。これからの50年を創造すべく、歩みを止めることなく進んでまいります。現在取り組んでいる「第7次高浜市総合計画」では、策定から実現に向けて、市民の皆さまと行政がいっしょになって進んでいくことができるような計画を作ってまいります。参加していただいた方はもちろん、市民の皆さま一人ひとりの光を集めて、未来を照らす輝くまちを作ってまいりたいと思っております。ご支援・ご協力をお願いいたします。

おわりに、令和4年の新春の門出にあたり、この状況が一日も早く終息することを願うとともに、市民の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。